

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	障害者総合支援法、市条例、条例施行規則に則り、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた18歳以上の障がい者を対象に、生活介護サービスを提供しました。また、サービス管理責任者の業務及び作成書類を随時チェックする体制を確立し法令遵守に努めました。結果、日常生活支援を受けながら、日中生活を送れる場所として、有効に活用していただきました。	A	法令に基づき、適切な支援を実施している。	意見無し	
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	B	利用に係る情報はホームページやパンフレットを提供しています。川西養護学校在校生には見学や定期的な体験実習の機会を提供しています。また、川西養護学校小中等部教員の施設見学を実施し施設への理解を深めました。新規利用契約時には重要事項説明書で説明し、署名捺印をいただきます。	B	見学や体験の機会を提供し、不安のある方には体験利用も実施するなど、利用者へきめ細やかな対応が行われている。	意見無し	
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	地域ボランティアの受け入れなどを通じて、施設に対する理解を得て広報活動に充てる予定で計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策により、令和4年度もすべて実施できませんでした。市養護学校とは、連携を密に行い体験実習を継続実施する事ができました。	A	新型コロナウイルスの影響により、効果的な営業や広報活動はできなかったが、川西養護学校と連携し体験実習を実施した。	意見無し	
< 課題 >		新型コロナウイルス感染症対策で利用自粛等があり利用実績は減少しましたが、市養護学校在校生の体験実習を継続した結果、令和5年4月に卒業生4名と契約する事ができました。今後も市養護学校との連携が必要です。また、全職員が制度理解と法令遵守の意識を継続して持つ必要があります。		新規利用者確保のための新たな取り組みが求められる。	意見無し	
< 改善内容 >		川西養護学校教員の施設見学は、高等部の教員を中心に実施していましたが令和4年度より、小中等部の教員も受け入れ施設への理解を深めました。新型コロナウイルス感染予防対策として、職員の抗原検査・検温の実施、マスクの着用、手指消毒や器具備品の消毒などを徹底しました。		引き続き徹底して感染対策に取り組まれない。	意見無し	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	主に重度身体障がい者に対し、個別支援計画書を作成し、送迎、入浴、排泄、食事等の日常生活支援を提供しました。また、創作活動に関しても障害者美術展等に出展するなど、利用者の創作活動意欲向上に努めました。コロナ禍のため、利用者・ご家族に「コロナ禍におけるレクリエーションに関するアンケート」を実施した結果、「外出は控え施設内でのレクリエーション」との意見が大半であったため、敷地内テニスコートを使用した「風揚げ」「ゲーム大会」や「ドライブ」などを実施し利用者の気分転換を図りました。	A	一人ひとりのニーズに応じた適切な支援が提供されている。また、コロナ禍において、工夫を凝らして利用者の社会参加が積極的に行われている。	意見無し	
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	B	コロナ禍での利用自粛等があり、欠席時の振替利用や利用回数増の積極的な働きかけはできませんでした。利用者の必要に応じた利用変更や追加利用は柔軟に受け入れました。	B	新型コロナウイルスの影響を受けたものの、一定の創意工夫が図られている。	意見無し	
< 課題 >		新型コロナウイルス感染予防対策の継続し安定したサービスを提供する必要があります。また、所外活動や外部ボランティアの受け入れなど、利用者のニーズに合わせたレクリエーションの見直しが必要となります。		新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、安定的なサービスを提供すること。	意見無し	
< 改善内容 >		機関紙等で施設のコロナ感染予防対策等の情報を記載するなど、安心してご利用いただけるように努め、また、送迎時のご家族とのコミュニケーションや連絡ノートを活用することで疑問や不安など早期に解決し、利用回数の促進に努めています。		利用者及びその家族の疑問の解決、不安解消に取り組むなどし、利用者には選ばれる事業所となるよう創意工夫を期待する。	意見無し	
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度	
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	令和4年度は、利用者の要望の内容を把握するため、「コロナ禍における所外活動」「コロナ禍における外部ボランティアの受け入れ」に特化して実施しました。	A	目的を明確に定め、より意義のあるアンケートを行うことができています。	意見無し	
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	令和4年度のアンケート結果から、「所外活動・外部ボランティア受け入れ延期」のご意見が多くあったため、内容を施設内レクリエーションやドライブツアーに変更し実施する事で施設運営に理解を得ています。	A	利用者のニーズを的確に把握し、それに応えることができています。	意見無し	
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	令和4年度は苦情がありませんでした。日々の連絡帳を活用し、利用者やご家族の相談、質問に対しその都度返答を記入しています。また、必要があれば訪問やお電話で説明しています。	A	適切に行われている。	意見無し	
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	施設長が可能な範囲で送迎車に同乗し、ご家族とのコミュニケーションを積極的に図るようしています。連絡帳の活用や毎月の機関紙発行を継続し、施設でのご様子を伝え、施設運営に理解を得られるように努めました。	A	具体的な取り組みを実施している。	意見無し	
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	積極的にヒヤリハット記録を記載し、全職員で共有しました。定期的にご家族と面談し、食事等の形態を家庭と同じに変更しました。また、入浴・食事・排泄介助マニュアル等の整備・見直しを行いました。サービスの標準化を進めています。	A	適切に行われている。	意見無し	
< 課題 >		新型コロナが5類感染症に移行となったため、所外活動や外部ボランティアの受け入れなど、本人・ご家族の意向を伺いながら再開して行く必要があります。		本人・ご家族の意向を尊重しながら、コロナ禍で実施が難しかった行事が行えるよう、感染対策を徹底しながらも新たな取り組みを期待する。	意見無し	
< 改善内容 >		理学療法士による機能訓練は、令和2年5月より継続しています。所外活動等が中止になったため、施設内のテニスコートを使用したレクリエーションや他者との接触がないドライブツアーなどを実施し、利用者を楽しんでいただくとともに気分転換が図れるよう支援しました。		今後も利用者のニーズを把握し、サービス向上に努めること。	意見無し	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費は、節水の慣行、照明、空調の節電などを職員に周知徹底しました。車両費は、利用者の増減に合わせて送迎ルート効率化を行い、燃料費削減に努めました。人件費において、利用者数に合わせて派遣看護師や非常勤職員の出勤を調整しました。結果として経費削減の効果を得ることができました。	A	今後も経費節減に努められたい。	意見無し			
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業務委託業者との契約や備品(1万円以上)を購入する際には、複数の業者から見積もりを取り、安価な業者を選定しました。発注においては1万円以下の物も品質に支障のない範囲で低価格の物を購入し経費削減に努めました。保守点検においては併設する満寿荘と同日実施の要件を入れ、経費削減に努めました。	A	適切に経費節減が図られている。	意見無し			
< 課題 >	施設の老朽化に伴い修繕の必要性が生じます。また、「蛍光灯の生産が減少されている」との事から、照明のLED化を順次進める必要があります。		必要性、費用対効果、優先順位などについて検討を重ね、計画的に修繕すること。		意見無し			
< 改善内容 >	修繕については、緊急性があるのか、予算計上するのかなど川西市と相談連携し、改修に努めます。また、照明のLED化については令和4年度に食堂兼ホール5か所をLEDに交換しています。		引き続き経費削減に努め、真に必要なものは市と協議されたい。		意見無し			
(2-2) 収入の増加	B		B		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	B	コロナ禍であったため、利用自粛をされたり、自粛をお願いしたりする状況でした。密を避けるため積極的な振替利用等の働きかけはできませんでした。川西養護学校在校生の体験実習を定期的・計画的に実施し、新規利用者確保に努めました。	B	感染対策を徹底するとともに、新規利用者確保に向けた取り組みなど工夫を凝らした取り組みができています。	意見無し			
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	B	新型コロナに感染による長期入院や利用回数を制限(減らす)される等があり障害福祉サービス等事業費収入は減少しましたが、川西体験実習を継続した結果、令和5年4月より川西卒業生4名と契約する事になりました。	B	新規利用者確保のために、効果的な取り組みができています。	川西養護学校との繋がりを強くし、他市からの利用も視野に入れ新規利用につなげること。			
< 課題 >	収入増のため、各相談支援事業所との連携や体験実習を継続し新規利用者の確保が課題となります。		課題解決に向けて検討を重ね、効果的な取組みが行われることを期待する。		意見無し			
< 改善内容 >	川西養護学校在校生の実習受け入れの継続や基幹相談支援センター・相談支援事業所との連携を強化し新規利用者確保に努めた結果、令和5年4月に川西卒業生4名と契約する事ができました。		引き続き関係機関との連携を強化し、新規利用者の確保につながる方策に取り組むこと。		意見無し			
(2-3) 収支のバランスなど	A		A		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。	A	新規利用1名と契約できましたが、コロナ過での利用自粛等もあり障害福祉サービス等事業費収入は減収となりました。その中で人件費(派遣看護師、臨時職員の勤務調整)水道光熱費・車両費の節減などにより収支バランスは適切に処理できました。	A	工夫を凝らし、収支バランスをとろうと努めている。	意見無し			
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	事業費・事務費とも、物品購入の際には品質に支障がない範囲で常に低価格の物を購入しました。	A	適切に行われている。	意見無し			
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	未払金、未収金、前払金等明確であり、収支の内容に間違いはなく、適切に執行しました。	A	適切に行われている。	意見無し			
< 課題 >	施設が老朽化しているため、突発的に修繕の必要性が生じる可能性があります。また、水道光熱費・車両燃料費が高騰しています。		必要性、緊急性などについて検討すること。		意見無し			
< 改善内容 >	利用者の増減に合わせて、人件費(派遣看護師・臨時職員の出勤調整)や車両燃料費(送迎ルートの調整)、水道光熱費(照明や空調をこまめに切る)の調整を行い節減に努めました。		利用者を第一に考えた運営がなされている。					

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
	3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)		A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	
	(3-1) 管理運営の実施状況		A		A		(3-1) 管理運営の実施状況	
	法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	管理者兼サービス管理責任者(常勤1名) 医師(非常勤1名)看護職員(常勤1名・非常勤1名)生活支援員(常勤1名・非常勤7名)等を配置し、基準を満たしています。	A	適切な人員配置がなされている。		意見無し	
	法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	職員個別研修計画を作成し全職員に研修参加機会を設け、研修参加後は報告書の提出、職員会議で研修報告会の実施、研修資料の供覧を行いました。コロナ禍のため、外部研修への参加は控え、WEB研修や内部研修を中心に実施しました。	A	コロナ禍においても研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。		意見無し	
	経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	軽微な修繕は職員が行うなど経費削減に努め、職員全体の介護のスキルアップと共に個別に提供するサービスの標準化を目指し、施設の管理運営を適切に行いました。	A	適切に行われている。		意見無し	
	施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	令和2年より、理学療法士による訓練を継続し実施しています。また、令和4年9月には、旧川西市民病院より「立位保持装置」を譲り受け、理学療法士の指導のもと利用者の身体機能維持向上に努めました。	A	新たな取組みについて、検討を進め実施されている。		意見無し	
	< 課題 >		公的な施設として、職員全員が法令を正しく理解し、基準に基づいた質の高いサービスが提供できるように、研修や勉強会等を継続し内容を共有していく必要があります。また、利用者の身体機能維持向上のため理学療法士訓練を継続する必要があります。		引き続き、質の高いサービス提供及び適切な施設運営に資するため、効果的な研修を実施されたい。		意見無し	
	< 改善内容 >		令和2年5月から理学療法士による訓練を継続し実施しております。また、令和4年9月には「立位保持装置」を使用した訓練を開始し、利用者の身体機能の維持向上に努めました。		今後もサービス向上に努めることを期待する。		意見無し	
	(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
	法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	県に提出するチェックリストにて、法令に沿って事業実施できているか自己チェックを行い、法人内部監査チームが県のチェックリストに沿って内部監査を実施することでチェック体制を強化しています。また、職員の法令遵守に対する意識を高めるため、他施設の内部監査の指摘事項等を共有しています。	A	適切に行われている。		意見無し	
	施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	社協の個人情報保護規定に従って取扱いを適切に行っています。また、利用者に対しては契約時に個人情報使用同意書を取り、利用者に関わる書類は鍵付きロッカーで保管し、退社時には事務所の施錠を徹底しています。	A	適切に行われている。		意見無し	
	日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	「ヒヤリ・ハット」の記録、事故報告書を活用し、職員会議で再発防止策を検討し全職員に情報共有しています。	A	適切に実施されている。		意見無し	
	防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	年に2回、併設する満寿荘と合同消防総合訓練を実施しています。防犯対策として警備会社直通ボタン、防犯カメラを設置しています。また、防犯ネット(インターネット)を活用し情報収集を行っています。令和4年度、防犯カメラを増設(1台)しました。	A	適切である。		意見無し	
	事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	BCP(事業継続計画)・緊急・災害・感染症・不審者対応等マニュアルを作成し、周知徹底をしています。また、適宜マニュアルを更新しています。	A	適切な対応がなされている。		意見無し	
	利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		非該当		非該当		非該当	
	利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	前月の15日頃までに、次月の利用希望日を確認し希望日に利用できるよう通所予定を作成しています。15日以降や当日であっても、受け入れが可能であれば希望に対応しています。	A	適切に行われている。		意見無し	
	< 課題 >		福祉避難所開設・運営訓練の実施とマニュアルの適宜見直しを行う必要があります。		近年大規模な災害が全国的に多発していることから、マニュアルの見直しや、災害に備えた訓練などを感染対策を徹底したうえで適切に実施する必要があります。		意見無し	
	< 改善内容 >		新規職員に対し施設マニュアル等の研修を実施し、法令順守の意識を徹底しました。また、BCP(事業継続計画)作成に取り組んでいます。		引き続き法令順守を徹底し、災害が起きても対応できるようBCPの作成に努めること。		意見無し	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A		
評価できる内容	令和2年度より、川西養護学校と連携し在校生の体験実習を定期的・計画的に実施しました。 創作活動については、県肢体不自由者美術展や障がい者文化作品展等に出展し、利用者の創作活動の成果と創作意欲向上に努めました。また、コロナ禍であったため、所外活動を中止し、ドライブツアーや敷地内テニスコートを使用した、代替レクリエーション等を実施し利用者の気分転換を図りました。 職員研修に関しては、コロナ禍で外部研修参加が困難であったため、Web研修等に参加することで、職員の業務に対する意識向上を図りました。		コロナ禍において、工夫を凝らし、全職員に研修機会を設けるなど職員の資質向上に対して積極的に取り組んでいる。また、創作活動についても、作品展への出展等、目標をもって積極的かつ具体的な取り組みが行われており、質の高い支援が提供されている。		意見無し	
令和4年度に改善した内容	「コロナ禍における所外活動・外部ボランティアの受け入れ」に関するアンケートを実施した結果「施設内での活動」「外部ボランティア受入延期」の意見が大半であったため、外部ボランティアの受入を延期し、ドライブや敷地内での代替レクリエーションを実施しました。 川西養護学校在校生の体験実習を継続して実施しました。また、以前は高等部教員に実施していた施設見学を小中等部教員にも実施し交流と施設への理解を深めました。		利用者のことを第一に考え、ニーズを的確に把握し、コロナ禍で行事を中止するのではなく代替行事を行うなど、利用者のことを考えた運営が図られている。また、新規利用者獲得に向けた体験や施設見学も行い、効果的な取り組みが実施されている。		意見無し	
令和4年度に改善したことによる効果	川西養護学校在校生の体験実習を定期的・計画的に実施(継続)した結果、令和5年4月に卒業生4名と新規利用契約を締結する事ができました。		新規利用者獲得に向けた体験実習を実施し、効果的な取り組みが実施されている。		意見無し	
問題があり次年度以降改善が必要な点	福祉避難所開設・運営の訓練の実施とマニュアルの適宜見直しを行う必要があります。また、スプリンクラー用の非常電源は設置しておりますが、災害時や災害後の非常電源の確保ができていません。ひまわり荘利用者には、痰吸引が必要な方や胃瘻自動注入機を使用されている方がおられるため、非常電源設備の設置が必要です。		大規模災害が多発する昨今、工夫を重ねた上で災害に備えた訓練や非常用設備の設置などの実施が求められる。		意見無し	
改善方法とその時期	福祉避難所開設・運営訓練については、川西市と川西市社会福祉協議会で検討していく必要があります。非常電源設備は令和5年度予算に計上、令和5年度内に購入・設置する予定です。(ポータブル発電機を令和5年6月購入・設置済み)		緊急性、必要性などの観点から優先順位をつけて取り組むこと。		大規模災害に際し、空調設備が使えない事も懸念されるため日頃から避難訓練や図上シミュレーション訓練を行うこと。	

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。